

「入管の民族差別・人権侵害と闘う 2. 16 院内集会」

開催と参加の呼び掛け

2022年2月1日

2021年3月6日、名古屋入管で発生したスリランカ人女性・ウィシュマ・サンダマリさん死亡事件は、入管が外国人の命と人権を顧みず、強制送還することだけを重視していることを明らかにしました。全件収容主義、無期限収容及び強大な裁量権を骨格とする戦後入管体制下の入管と、被収容者の間では、圧倒的に入管の方の力が強くなります。このような力関係が貫徹する収容施設の中で、悲惨な事件が起きたのです。この戦後入管体制の背景には、民族差別に根差した入管政策があります。かつて日本が植民地を求めて侵略戦争を行い、アジアの人々を支配し、差別・抑圧したことを戦後入管体制は引き継いでいます。

入管は、3000人強の「送還忌避者」を全て強制送還しようとする送還一本やりの政策を維持しようとしています。この中には、国際基準とかけ離れた日本の消極的な難民受け入れによって、難民不認定となった人等も含まれています。こうした人たちをも収容送還するために、入管法改悪法案を再び提出して、入管の権限を更に強化しようとしています。

私たちは、全国各地の入管問題に取り組む団体・個人の力を集め、入管法改悪阻止と戦後入管体制を改革していく闘いを全国的に作り上げていくため、2021年12月11日「入管の民族差別・人権侵害と闘う全国市民連合（略称：入管闘争市民連合）」を結成しました。二度とウィシュマさんのような事件を起こさないために、この事件の真相究明、再び提出されるであろう入管法改悪法案を廃案に追い込むこと、そして、在留特別許可基準の大幅緩和、国際基準に基づいた難民受け入れを求めていきます。本年3月6日のウィシュマさんの一周忌には、全国各地（東京、名古屋、大阪、京都ほか）にて一斉追悼アクションを開催します。こうした取り組みを通じて、入管の民族差別・人権侵害と闘う市民の運動を作り上げ、入管政策を根本から変える力を作り上げていきます。

この度、同市民連合の当面の活動方針である①名古屋入管死亡事件の真相究明、及び遺族へのビデオ提供を、②『送還一本やり方針』を追及し、国民的議論を、③入管医療の抜本的改革をテーマに下記の通り院内集会を開催致します。ぜひ多くの方にご参加いただきますようお願いいたします。

記

日時：2022年2月16日（水） 12時～13時

開催方法：現地参加（議員とメディア関係者のみ）とオンライン参加併用で開催します。

〔参加申し込み〕

こちらのフォームより事前にお申込みください。

<https://forms.gle/hV2sJTU1KfitUFSP7>

以上

主催：入管の民族差別・人権侵害と闘う全国市民連合（略称：入管闘争市民連合）

HP: <https://www.ntsiminrengo.org/>

Twitter: @nyukan_alliance

（問合せ先メールアドレス：info @ntsiminrengo.org）